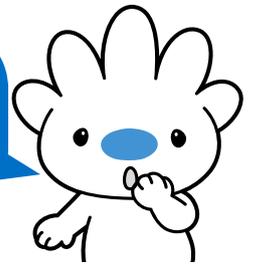


ふらっとホーム 2012 in ていね 開催報告



【掲載内容に関する詳細】総務企画課広聴係 ☎ 681-2432 FAX 681-6639
【ふらっとホームに関する詳細】広報部市民の声を聞く課 ☎ 211-2045 FAX 218-5165

区民と市長が直接対話をする『ふらっとホーム 2012 in 手稲』を手稲区役所で開催しました。今回で手稲区民との直接対話の機会も 10 回目となりましたが、「ふらっとホームを知らなかった」という方や「今年のふらっとホームを聞き逃してしまった」という方へ、ほんの少しですが当日の様子を紹介します。「もっと知りたい!」という方は、手稲区役所 HP『ていねっていいね』(<http://www.city.sapporo.jp/teine/towntalk>) に掲載していますので、ぜひご覧ください。

【開催概要】 日 時：平成 24 年 10 月 20 日(土) 13 時～15 時 会 場：手稲区役所 3 階 B・C 会議室
参加者：上田市長、渡部前副市長、坂田区長、対話者 5 人、傍聴者 28 人



橘さん

地下鉄の延伸について

橘さん：これから高齢社会を迎えて、速くて便利な地下鉄が延びてほしいという意見を耳にしますが、どうして手稲区に地下鉄が走らないのですか？

市 長：地下鉄建設には、30 年以内に黒字にするという認可基準をクリアしなければなりません。当初、1 日に 80 万人が利用する見込みでしたが、現在の利用者は 56 万人です。ここをクリアできれば延ばすという話もできると思うのですが。

健康と観光のまちづくりについて

沢田さん：駅前に駐輪しているたくさんの自転車を見ると、手稲を「サイクリングツアーのまち」にしたらかどうかと考えています。

市 長：「サイクリングツアー」それはいいですね。市内には、たくさんサイクリングロードもありますし。ウォーキングマップは全区にありますから、これに加えて「サイクリングロードのモデルコース」をつくるのは、非常にいい提案だと思います。



沢田さん



外崎さん

子どもの教育について

外崎さん：子どもたちは、地域の宝、未来の宝です。いろいろな体験をすることで自然と自信も出てきます。小中学生には、もっと体験学習が必要ではないかと思えます。

市 長：手稲区では「ていね夏あかり」のちょうちん作りの体験により、郷土愛を育む活動が実践されています。札幌市では、本を読むことにより考える力を身に付ける教育に取り組んでいて、考える力が向上しつつあると言われています。



この他にもたくさんのご提案をいただきました。いただいたご提案に刺激を受けて、市民の皆さんにお返しするという作業を今後も続けていきたいと思っています。

ぜひ次の機会には「ふらっとホーム」に参加して、会場で話を聞いてください。



ふらっとホーム
開催時の様子

「ふらっとホーム」については、全市版 6、7 ページにも掲載しています。ご覧ください。